

N0.39 「小学校科学実験教室」

令和5年10月20日

理科に興味・関心を持った子ども達を増やそうと豊能町教育委員会より**豊能科学工作教室・夢 LABO**さんをお願いをしています**「科学実験教室」**が、小学4年生～6年生を対象に町内4小学校で開催していただきました。10月20日に東能勢小中学校で開催された「科学実験教室」の様子を紹介いたします。



【講師の先生、スタッフの皆さん（9名）の紹介】

会場は小学校校舎の多目的室と、理科室を使います。4年生が学級閉鎖でお休みだったので、5，6年生を8つの班に分けて行います。

【化学→「ビタミンCの量を調べよう」（5年A班）】



「ビタミンCの量なんて調べられるの？」との声が聞こえます

【「うわーっ、1滴で色が消えた！」】



指示薬（ヨウ素でんぷん溶液）が入った6本の試験管にスポイトでダイコン、タマネギ、ミカン、レモン、リンゴジュース、CCレモンを1滴ずつ入れ確かめていきます。

→分かったこと ビタミンCは（ ）に多く含まれる

*ヨウ素でんぷん溶液（赤褐色）+ビタミンC→ヨウ素化水素（無色に）

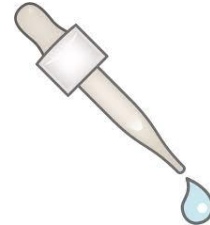
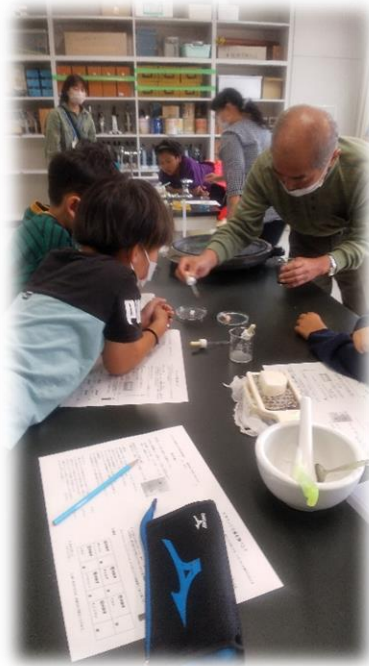
【生物→「デンプンの消化の実験するよ！」（5年B班）】



まず、ご飯を細かく砕いて4つのシャーレA,B,C,Dに入れるよ。
次に、ダイコンおろしの絞り汁をご飯を入れたB,Cのシャーレに入れて

「何かむずかしそうやなあ！」

【「ヨウ素液を A、B に、C、D にはベネジクト液を入れ加熱するよ!」】



「えーっ、色んな色にかわっていく!」

*A のご飯は、青紫に B のご飯は薄い青紫に
C のご飯は、青に D のご飯は黄色になった

→分かったこと

- ・でんぷん(ご飯)は、ヨウ素液を加えるとヨウ素でんぷん反応で(色)になりベネジクト液を加えると青色に染まった
- ・でんぷん(ご飯)に大根おろしを加えるとジャスターゼによってでんぷんが分解して()になった

【物理→モーターを使って羽を回そう(6年A班)】



講師の先生の話聞きながら「物理は苦手やねん。」

【「回った！回ったよ！」】



「先生の言われるとおりにしたら、うまくいった。やったー！」

【地学→「運動場の砂から宝石探すんやで！」（6年B班）】



「運動場に、宝石の石なんてあるのかなあー？」

【今日は、みんなよう頑張ったから「パワーストーン」あげるよ】



「これ持っとったら、シュート入るんですか？」
「そうやで、ポケットに入れときや、けど練習もせなあかんで」

私も小学3年生の頃から「蝶や昆虫」に夢中になり、毎日ネットを持って野山を駆け回っていました。大野山、三草山、妙見山、六甲山、大山、北・南アルプス、芦生の森・・・色々な所にも出かけました。そのなかで色々なことを学び、沢山のことを身に付けました。

「小学校科学実験教室」一子ども達は、生物、化学、物理に地学と4つの分野の実験や観察を通じて理科に興味・関心を持って世界を広げ、色々なことにチャレンジして欲しいですね。「豊能科学工作教室・夢 LABO」の皆さん本当にお世話になりました。どうか、これからも豊能町の子ども達のことよろしく願いいたします！

【番外編→タマムシの謎】



8月の終わりから9月にかけて実家の畑でタマムシを4匹ゲット。正倉院のタマムシの厨子で有名ですが、なかなか出会うことが難しい昆虫です。しかし、調べてみると、その食草や棲み家は何とオオムラサキやテングチョウと同じエノキだったのです。畑の上には大きなエノキがあり、謎がとけました。